

1 社会・治安情勢

ザンビアの主要輸出品である銅の国際価格の下落傾向により、鉱山労働者の失業者が相次いでいる。貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、クワチャ安に伴う物価の上昇がこれに拍車をかけ、貧困に起因する犯罪が後を絶たない。

最近では深夜の計画停電の時間帯を狙った犯罪が多発しており、当局の治安維持能力の低さがこれを助長している。これに加え、周辺国の紛争発生時に難民と共に流入した軍用の銃器が依然として多く出回っているため、犯罪の手口が凶悪化、組織化している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされている地域においても昼夜を問わず銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が頻発している状況であり、特に深夜の時間帯の計画停電における犯罪が多発しており、在留邦人がいつ被害に遭ってもおかしくない状況である。

在留邦人が居住する地域を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、犯罪の温床となっており、若年層の新規雇用低迷、インフレ、生活インフラ整備の不足等に対し、多くの人々が不満を抱えており、これが何らかのきっかけで抗議や暴動につながる可能性も排除されない。

(2) 邦人被害事案

ア 10月16日、在留邦人が一人で外出中のところ、数人の賊に襲撃され頭部に4針を縫う強盗傷害事件が発生した。

イ 10月30日、在留邦人がイーストパークモールに駐車中のところ、車上荒らしに遭い、車のドアの鍵を壊される事件が発生した。

ウ 12月6日、当地在留JICA専門家が、ショッピングモールで知り合いだと話しかけられたザンビア人に、自宅まで送ってくれるよう依頼され応じたところ、送迎中に貴重品等が窃盗に遭う事件が発生した。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 住居侵入強盗

12月6日、ノースミッド地区にあるインド人宅に空き巣が入り貴重品が奪われる事件が発生した。当該家屋には警備員が配置されておらず、警備員未配置の家屋が被害に遭うケースが多発している。この他にもルサカ市内全域で同様の被害が多発している。

イ 商店侵入強盗

(ア) 10月19日、ノースミッド地区にある営業中の飲食店に強盗が押し入り、居

合わせた客から金品を奪う事件が発生した。

(イ) 10月中旬, キトゥエ市内において, 鉈等で武装した賊が商店に押し入り, 従業員を襲撃し1名を殺害, 2名に怪我を負わせ, 商品と現金を奪う事案が発生した。

ウ 車両盗難

(ア) 10月に入り, マンダヒル, アークーズ, イーストパークモール(いずれも, 在留邦人がよく利用するショッピング施設)で車上荒らしが多発している。この他にも同様の事件はルサカ市内全域で多発している。

エ 強姦

(ア) 10月上旬, ルサカ市内のマケニ地区において, ザンビア人女性2人が乗った車両が犯人に後をつけられ, 車両が停止したところを犯人にブロックされ, 貴重品等を奪われた後, 強姦被害に遭う事件が発生した。

(イ) 10月には, ルサカ市内のコンパウンド地区において, 10代から20代の女性が強姦被害に遭う事件が20件以上発生しており, 犯行グループの一人は麻薬中毒者の若者であった。この他, 同様の事案はルサカ市内で多発している。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

関連情報なし。

5 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報なし。